



特定小電力 トランシーバー

取扱説明書

スタンダードアンテナモデル

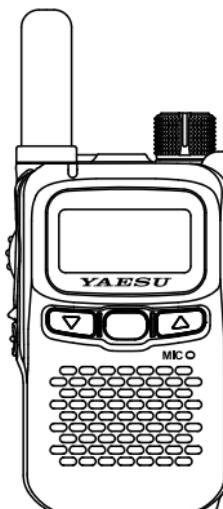
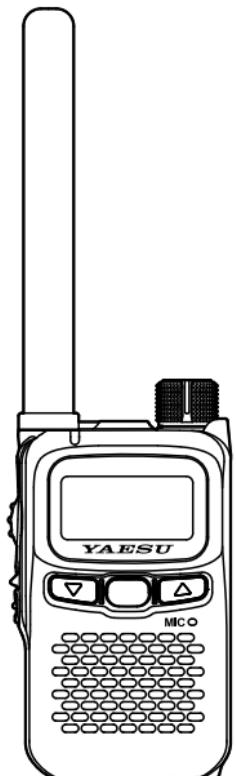
SRS 30

SRS 30-BT Bluetooth®

ショートアンテナモデル

SRS 30S

SRS 30S-BT Bluetooth®



お買い上げいただき、ありがとうございます
正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください
お読みになった後は、大切に保管してください
このトランシーバーは国内専用モデルです
海外では使用できません

目 次

はじめに	1	Bluetooth ヘッドセットで ワイヤレス通信を行う	24
正しくご使用いただくために	1	Bluetooth ヘッドセットの マイクの感度を変える	25
ヤエスコネクトライトについて	1	Bluetooth に関する設定だけを 初期化 (リセット) する	25
お買い上げ後すぐに使えます	2	全体設定	26
1つのグループで使う	3		
2~4グループで使う	3		
マージ (MERGE) 機能	5		
各モード共通			
便利な機能 ①	6	ヤエスコネクトの機能を使わないモード (ノーマルモード)	32
エリアリサーチ機能	6	メインとセカンドの 2つのチャンネルを使用する	32
便利な機能 ②	7	メインとセカンドで使用する チャンネルを変更する	33
CUE 機能でメンバーに合図を送る	7	通話エリアを拡大する (中継器を使用する)	34
ロック機能	7	マイクの感度を変える	34
ご使用になる前の準備	8	アクセスキーを押した時の 動作を変える	34
電池の入れかた	8	CUE 機能に関する設定	34
ニッケル水素電池 "SBR-17MH" を 充電する (充電時間は約 2.5 時間)	8	チャンネルの表示をオン / オフする	34
スピーカーマイク、タイピンマイク、 イヤホンの接続 / 取り外し	9	Bluetooth ヘッドセットで ワイヤレス通信を行う	34
ワントッチリリースホルスター "SHB-22" (オプション) の使いかた	9	グループ以外の通話が聞こえる時は グループコードを変える	35
付属のベルトクリップの取り付けかた	9	テレポート機能を変更する	36
各部の名前と機能	10	ノーマルモード時の テレポート機能の項目リスト	37
困ったときに			
もし通話ができなくなったときは エアクローンで同期をし直す	12	全体設定	38
グループ以外の通話が聞こえる時は グループ ID を変える	13		
応用編			
テレポート機能を変更する	16	正常に動かない時は、工場出荷時の 状態に戻す (リセット)	43
テレポート機能の項目リスト	17	故障かな? と思う前に	43
マニュアルでチャンネルを変える	18	アフターサービス	44
マイクの感度を変える	19	防水性能について	44
アクセスキーを押した時の 動作を変える	20	定格	45
CUE 機能に関する設定	21	2.4GHz 帯の電波干渉についての ご注意	45
特定のスタッフだけと通話する (ホットライン機能)	22	安全上のご注意～必ずお読みください～	46
チャンネルの表示をオン / オフする	23	索引	47

はじめに

● ご利用にあたって

- 本体背面に貼り付けてある“証明ラベル”を剥がしたり、“分解”や“改造”を行うことは、法律で禁止されています
- 他人の会話を聞いて、その内容を漏らすと法律で罰せられることがあります

● 免責事項

- 取扱説明書に記載の使用方法とは異なる使用方法により発生した故障、障害、損害について、当社は一切責任を負いません
- 本機を使用して生じた障害や損害について、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いません

正しくご使用いただくために

- 本機にマイクロホンなどを接続する際は、必ず当社純正オプションを使用してください
当社純正品以外のオプションを使用すると、故障や破損の原因になります
当社純正品以外のオプションの使用が原因で生じた故障や破損、および事故などの損害について、弊社では一切責任を負いません
- 直射日光や熱風の当たる場所、水のかかる場所に放置しないでください
- 電波法により、トランシーバーを分解・改造することは禁じられています
- 通話する際は、本機から約5センチ離して普通の声量で話してください
- 内部の点検・修理は、お買い上げいただきました販売店にご依頼ください

ヤエスコネクトライトについて

- 1つの受信部で2つのチャンネルを交互に監視して混信を回避する DCM（デュアルチャネルモニター）システムです
- グループ以外の混信があると瞬時に自動でチャンネルを移動して混信を回避します
- グループ間の移動もワンタッチでできます
- マージ機能でグループの垣根をとって一斉連絡ができます

お買い上げ後そのまますぐに使えます (設定不要の簡単操作)

電源を入れてボリュームを調節するだけ。あとはアクセスキーを押して話すだけです。アクセスキー以外のキーを使う必要はありません。押しても“ブブッ”と鳴るだけで動作しません

- ① ツマミをまわして電源オン



- ② ツマミをまわして聞きやすい音量に調節します



- ③ アクセスキーを押しながらマイクに向かって話します
話が終わったらアクセスキーを放すと受信に戻ります

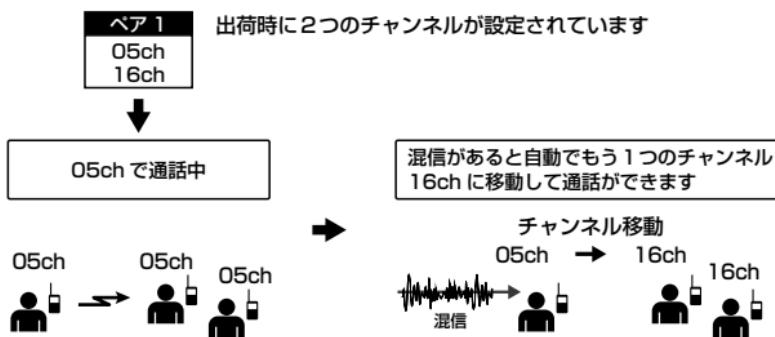


アクセスキーを放すと“ブブッ”と音がして受信に戻ります

① 1つのグループで使う

出荷時は“1つのグループで使うモード”になっています

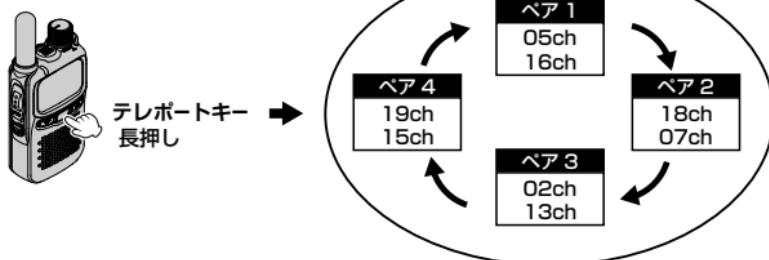
2~4グループで使う場合はグループ数に合ったモードに変更します（次ページ参照）



複数の混信があるときは“テレポート機能”を使います

アクセキーを押してもLEDが赤色で点滅して送信できないときは05chと16chの両方に混信があると考えられます

この場合は1台のテレポートキーを長押しすれば、別のペアチャンネルにグループ全員が自動で移動できます



ペアチャンネル（組み合わせ）は4種類あり、テレポートキーを長押しするたびにスタッフ全員のペアチャンネルが自動で移動します

便利な機能“エリアリサーチ”

通話を始める前に、使用するエリアの電波状態をチェックして混信の少ないチャンネルを自動で探してトランシーバーに設定する“エリアリサーチ”を行うことをお勧めします（6ページ参照）

② 2~4グループで使う

複数のグループが別々に連絡を取り合うホテルなどで連絡に最適なモードです

フロント係は“Aグループ”、客室係は“Bグループ”、駐車場係は“Cグループ”、レストランは“Dグループ”的ように、グループが別々に連絡を取り合う運用が可能です

グループの数に合わせて運用モードを“2グループ”、“3グループ”、“4グループ”から選びます

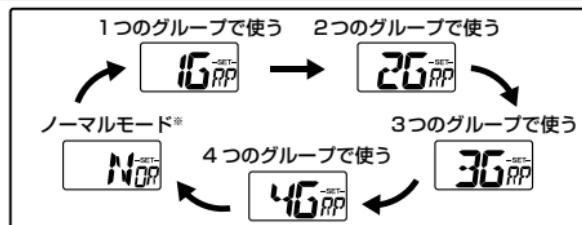
① はじめに運用モードを変更します

運用モードは始めに設定を行えば、その後は変更する必要はありません

① 1台のSRS30でCUEキーとアクセスキーを押しながら電源を入れます



② [▼]/[▲]キーを短押ししてモードを選びます



※“NOR”（ノーマルモード）ではヤエスコネクトの機能は使用できません



② エアクローンで同期する

③ 他のSRS30をレポートキーを押しながら電源を入れます



④ モードを変えたSRS30のアクセスキーを短押しします

情報が転送されて全てのSRS30が自動で同じモードになります

アクセスキー
短押し



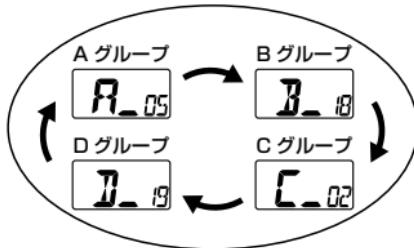
③ 運用モードを設定したら、次に自分のグループを選びます

テレポートキーを短押しするたびに A グループ～D グループが順番に切り替わります
(4 グループの場合)

選んだグループのスタッフとだけ通話ができます



テレポートキー
短押し



- 他のグループと通話をするときは、テレポートキーを短押ししてグループを選びます
- 各グループで2つのチャンネルを交互に監視し、混信があると自動でチャンネルを移動して混信を回避します
- 緊急時は [CUE] キーの長押しで、マージ機能によってグループの垣根を無くして全てのスタッフと連絡を取り合うことができます
- マージ機能から通常のグループモードに戻るときはもう一度 [CUE] キーを長押しします

マージ (MERGE) 機能

(所属グループの垣根を取り払って全員と連絡を取り合う)

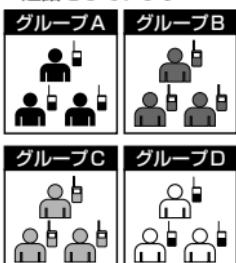
CUE キーを長押しすると、グループ全員と連絡をとることができます

普段はグループ内だけで連絡を行いますが、緊急時はグループ間の垣根をなくして全員と連絡を取りあうことができます

1. CUE キーを長押しします → “AL” の表示になつたら放します
2. アクセスキーを押して話すと、全てのグループ全員と連絡がとれます
3. 再び CUE キーを長押しすると、各グループごとの通話に戻ります



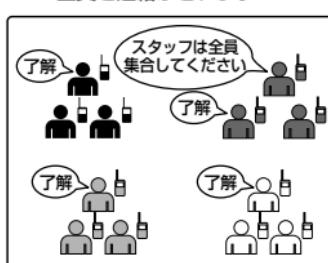
普段はグループごとに
通話をしています



緊急時は
誰か1人が CUE
キーを長押し



グループの垣根を無くして
全員と連絡がとれます



便利な機能 ①

使用するエリアの電波状態から混信の少ないチャンネルを自動で探します
～エリアリサーチ機能～

- 設定後はエアクローンで全ての SRS30 を同期してください
- 混信の少ないエリアでは、エリアリサーチを行う必要はありません

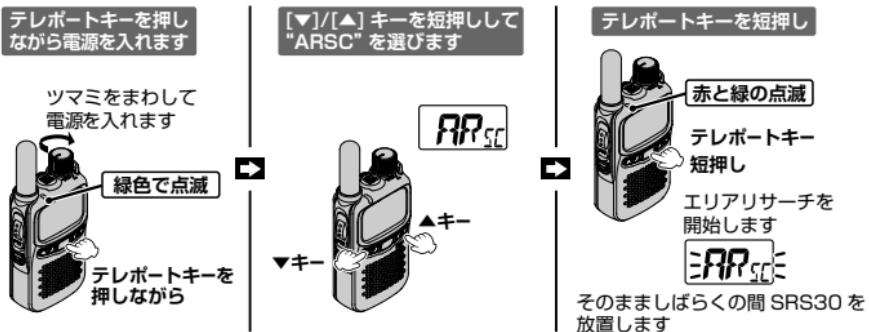
工場出荷時は、混信回避で使う A1 チャンネル～ D2 チャンネル、L チャンネルには以下のチャンネルが割り当てられています。エリアリサーチでそのエリアの混信の少ないチャンネルに書き変わります



A1	A2	B1	B2	C1	C2	D1	D2	L
05	16	18	07	02	13	19	15	11

エリアリサーチを長時間（最低 30 分以上）行うことで、より混信の少ないチャンネルを見つけることができます

① 一台の SRS30 でエリアリサーチを始める



② 他の SRS30 にチャンネル情報を同期する



2～4グループで使用している時は、エリアリサーチをした SRS30 は一旦“A グループ”になりますので、テレポートキーを短押しして自分が所属するグループに切り替えてください

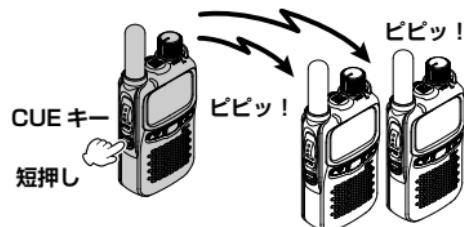
便利な機能 ②

CUE (キュ) 機能でメンバーに合図を送る

接客中などに、接客相手にわからない
ようにメンバーに合図を送ることができます

CUE を受信した時に鳴るビープ音
や音量を変更することができます
変更方法は応用編の“CUE 機能に関する設定”(21 ページ) を参照して
ください

1つのグループで運用するモードでは、長押しでも動作します



ロック機能

アクセスキーと CUE キー以外のキーをロックすることができます

[▼] キーを長押しするとキーをロックします
もう一度 [▼] キーを長押しするとロックを解除します



ご使用になる前の準備

電池の入れかた



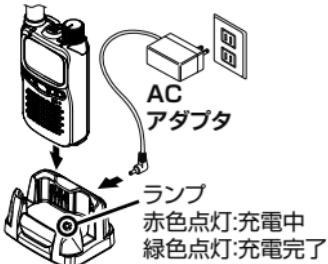
- ・ 使用可能時間：約26時間（ノーマルモード）
送信6秒、受信6秒、待受48秒の繰り返し運用を想定
- ・ マンガン乾電池は使用しないでください

ニッケル水素電池“SBR-17MH”を充電する（充電時間は約2.5時間）



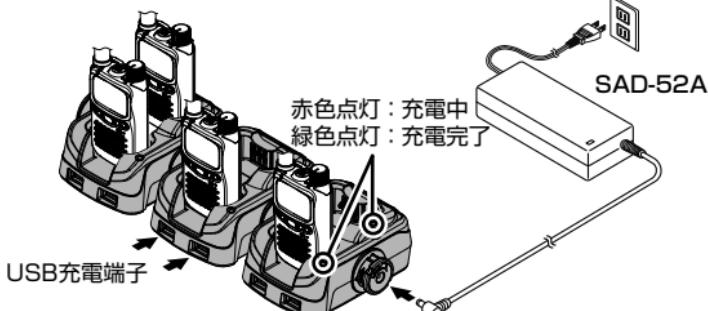
- ・ 充電する時はSRS30の電源を切ってください
- ・ アルカリ乾電池は絶対に充電しないでください

SAD-3930A 急速充電器で充電する



SBH-40 連続型充電器で充電する

最大3台まで連結できますのでSRS30を6台同時に充電することができます



赤色点灯：充電中
緑色点灯：充電完了

ローバッテリーアラート機能



電池が少なくなると電池マークの表示とアラーム音で残量を知らせます
残量表示（残量が十分にある時は表示されません）

残り約2時間

残り約1時間

残り約30分

残り約5分



10分間隔で
“ビビビビビッ”と
鳴ります

2分間隔で
“ビビビビビッ”と
鳴ります

30秒間隔で
“ビビビビビッ”と
鳴ります

3回続けて
“ビビビビビッ”と
鳴ると電源が
切れます



点滅

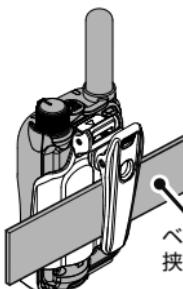
スピーカーマイク、タイピンマイク、イヤホンの接続 / 取り外し



- スピーカーマイクやタイピンマイク、イヤホンは、当社純正オプションを使用してください
当社純正品以外のオプションによる故障や破損、事故などの損害については、弊社では一切責任を負いかねます
- スピーカーマイク、タイピンマイク、イヤホンを接続 / 取り外す時は、SRS30 の電源を切ってください



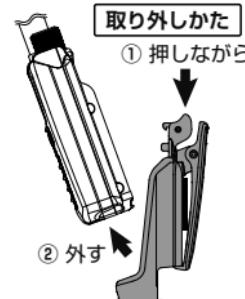
ワンタッチリリースホルスター “SHB-22”（オプション）の使いかた



ベルトなどに
挟んで付ける



取り付けかた

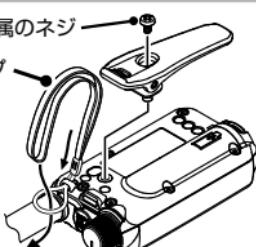


取り外しかた

付属のベルトクリップの取り付けかた

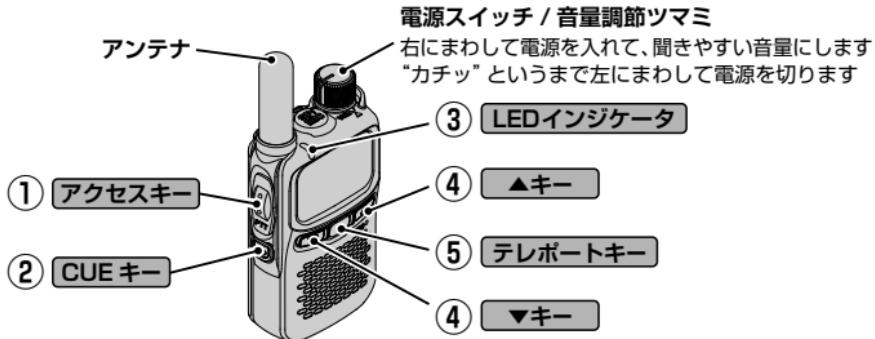
付属のネジ

市販のハンドストラップ



故障の原因になりますので、付属の
ネジ以外は使用しないでください

各部の名前と機能



① アクセスキーの操作

押しながら話をします

押している間は送信を続け、放すと確実に受信に戻ります

- 周りが騒がしくても確実に受信に戻ります

送信する時に“チョン”と押します（ワンクリックハンズフリー）

はじめに CUE キーを押しながら電源を入れてから、設定モードの “11”（アクセスキー動作）の設定を “TX-M” にします

話している間は送信を続け、話すのをやめると自動で受信に戻ります

- 話をやめても周りが騒がしくて受信に戻らないときは、もう一度 “チョン” と押すと受信に戻ります
- 話している間押し続ければ、放すと受信に戻ります

② CUE キーの操作

1 つのグループで使うモードの時	短押し → CUE 機能でスタッフ全員にアラームを鳴らして合図を送ることができます 長押し → ホットライン機能がオンの時 特定のスタッフとだけ通話することができます また構内アナウンス用ワイヤレススピーカーから音声を出すことができます ホットライン機能がオフの時 短押しと同様に CUE 機能でスタッフ全員にアラームを鳴らして合図を送ることができます
2 ~ 4 グループで使うモードの時	短押し → CUE 機能で同じグループ内のスタッフ全員にアラームを鳴らして合図を送ることができます 長押し → マージ機能でグループ全体で連絡を取り合うことができます

③

LED インジケータ

緑点灯：受信中

緑点滅：・ノーマルモードのときに、異なるグループコードの信号を受信したとき
(音声は聞こえません)
・個別の設定（機能設定項目）を変更中

赤点灯：送信中

エアクローンデータ転送中

オレンジ点灯：マージ（MERGE）機能で送信中

赤と緑の点滅：エリアリサーチ機能動作中

赤の速い点滅：他の人がチャンネルを使用中で送信できないとき

④

▼ / ▲キーの操作

	▼キー	▲キー
通常時	短押し → 機能は割り当てられていません 長押し → ロック機能のオン / オフ	機能は割り当てられていません
設定モードの時	設定する項目を [▼]/[▲] キーで選び [テレポート] キーを短押しします → [▼]/[▲] キーで設定を変えて [テレポート] キーを短押しして決定します	

⑤

テレポートキーの操作

1つのグループで使うモードの時

短押し → 機能は割り当てられていません
長押し → 複数の混信がある時にテレポート動作でチャンネル自動変更

2~4グループで使うモードの時

短押し → 別のグループへ移動します
長押し → 機能は割り当てられていません

困ったときに

もし通話ができなくなったときはエアクローンで同期をし直す

グループのメンバーと通話ができなくなった場合や通話に関する設定を変えたときは、エアクローンで同期をとることで再び通話ができるようになります

①

全ての SRS30 でテレポートキーを押しながら電源を入れます

ツマミをまわして電源を入れます



テレポートキーを
押しながら

"RX" が表示されます



②

1台の SRS30 のアクセスキーを短押しすると全ての SRS30 が同期されます



アクセスキー

設定した情報が送信されます

"TX" が点滅します



③

全ての SRS30 が
通話ができるよう
になります

困ったときに

グループ以外の通話が聞こえる時はグループ ID を変える

- ・グループ ID は、その信号がメンバーの信号かどうかを判断する時に使いますので、スタッフ全員が同じグループ ID 番号にする必要があります
- ・工場出荷時はグループ ID が “00” になっています（他のグループの声が聞こえるような場合はグループ ID を変えてください）
- ・ID が異なる他のグループの信号が入ると、自動で混信のないチャンネルへ移動します



1台のグループ ID を変更してからエアクローンで全ての SRS30 を新しいグループ ID に同期する

①

テレポートキーを押しながら電源を入れます

ツマミをまわして電源を入れます

緑色で点滅

テレポートキーを押しながら



"RX" が表示されます

②

[▲] キーを短押しすると ID 番号が表示されます

"00" ~ "99" のいずれかが表示されます

▲キー
短押し



IDが“01”的場合

③

テレポートキーを短押し

テレポートキー
短押し



点滅します

④

[▼]/[▲] キーを短押しして “01” から “99” の任意の ID 番号にします

▲キー
短押し

点滅します
IDが“09”的場合

⑤

テレポートキーを短押しすると ID 番号が確定します

テレポートキー
短押し

点滅します
IDが“09”に設定完了

⑤

エアクローンで全ての SRS30 と ID 番号を同期させます

操作方法は “もし通話ができなくなったときはエアクローンで同期をし直す” (17 ページ) を参照してください

困ったときに

メモ

応用編

必要に応じて各種設定を変更することができます

テレポート機能を変更する（通常は変更する必要はありません）

①

テレポートキーを押し
ながら電源を入れます

ツマミをまわして
電源を入れます



"RX"が表示
されます

②

[▼] または [▲] キーを短押し
して設定する項目を選びます



グループ ID を選んだ
場合の表示例



③

テレポートキーを短押し



④

[▼] または [▲] キーを短押しして
設定を変えます



⑤

テレポートキーを短押し
すると設定を確定します



⑥

他の SRS30 の
テレポートキーを押し
ながら電源を入れます

ツマミをまわして
電源を入れます

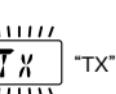
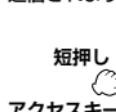


"RX"が表示
されます

⑦

設定を変えた SRS30 のアクセス
キーを短押ししてエアクローンで
他の SRS30 を同期させます

設定した情報が
送信されます



"TX"が点滅します

そのままご使用に
なれます



テレポート機能の項目リスト

グループ内の全てのSRS30の設定内容を同期したり、必要に応じて混信を気にせずに通信できる各種の設定を変更します

テレポートキーを押しながら電源を入れると、設定モードになります

項目	出荷時の設定	機能
エアクローン 1台のSRS30で設定した内容を他のSRS30にコピーすることができます	—	 エアクローン受信待機  エアクローン送信 操作方法は“もし通話ができなくなったときはエアクローンで同期をし直す”(12ページ)を参照してください
グループID 同じグループであることを識別するID番号です。ID番号が違うと通話ができません。他のグループが同じID番号を使っていて混信が起こる場合は、ID番号を変えます		 ~  “ID 00”～“ID 99”の中から選びます 操作方法は“グループ以外の通話が聞こえる時はグループIDを変える”(13ページ)を参照してください
テレポート送信 画面表示 	 通常はONで使用します	 テレポートキーを長押しするとスタッフ全員のSRS30が別のチャンネルグループに自動で移動します  テレポートキーを長押ししてもテレポート機能は動作しません なお、他のスタッフがテレポート機能を動作させた場合は自分のSRS30は別のチャンネルグループに自動で移動します
エリアリサーチ 画面表示 	—	 エリアリサーチ中(点滅) 操作方法は“エリアリサーチ機能”(6ページ)を参照してください

マニュアルでチャンネルを変える（通常は変える必要はありません）

チャンネル“A1”～“D2”、“L”には出荷時に予め任意のチャンネルが設定されていますが、それぞれのチャンネルを01～20の中から選んで変更することができます

変更する方法は、エリアリサーチ機能を使って自動で新たにチャンネルを設定するか、手動でチャンネルごとに希望するチャンネルを設定する方法があります

工場出荷時は、混信回避で使う A1 チャンネル～ D2 チャンネル、L チャンネルには以下のチャンネルが割り当てられています



A1	A2	B1	B2	C1	C2	D1	D2	L
05	16	18	07	02	13	19	15	11

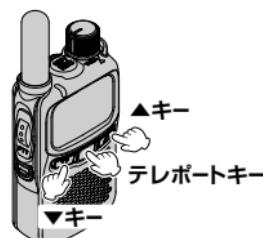
① エリアリサーチで設定する

エリアリサーチの方法は“エリアリサーチ機能”（6 ページ）を参照してください

② 手動で設定する

はじめに1台のチャンネルを変更する

- 一度電源を切ります
- [▼]と[▲]キーを同時に押しながら電源を入れます
- [▼]または[▲]キーを短押しして変更したいチャンネルを選びます
- テレポートキーを短押しします
- [▼]または[▲]キーを短押ししてチャンネルを変えます
- テレポートキーを短押しします
- 下記の“エアクローン”で、他の SRS30 へ変更したチャンネルをコピーします



次に他のSRS30へ変更したチャンネルをエアクローンで同期する

①

全ての SRS30 でテレポートキーを押しながら電源を入れます



②

チャンネルを変えた SRS30 のアクセスキーを短押しすると全ての SRS30 が自動で同じチャンネルになります

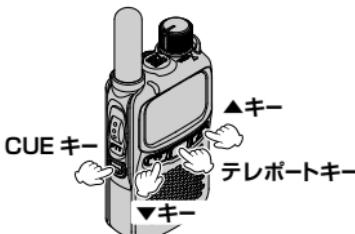


マイクの感度を変える

相手から「声が小さい」「声が大きい」と言わされた時に、機能設定項目で、内部マイクおよび外部マイク使用時は外部マイクのマイク感度を変えることができます

設定方法

1. CUE キーを押しながら電源を入れます
 2. [▼] または [▲] キーを短押しして設定する項目（下記参照）を選びます
 3. テレポートキーを短押しします
 4. [▼] または [▲] キーを短押しして設定を変えます
 5. テレポートキーを短押しして設定を確定します
 6. アクセスキーを短押しすると設定は完了です（自動で電源がオフ → オンになります）



◎ 内蔵マイクの感度を設定する → “08”で設定します

マイク感度は L1 ←→ L2 ←→ L3 から選べます
感度小 感度大

工場出荷時は“L2”に設定されています

◎ 外部マイクを使っている時のマイク感度を設定する

→ “09” で設定します

マイク感度は L1 ←→ L2 ←→ L3 から選べます
感度小 感度大

工場出荷時は“L2”に設定されています

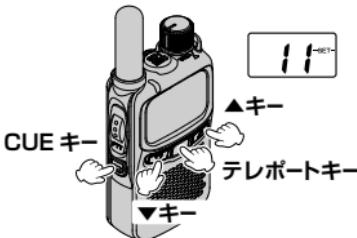
アクセスキーを押した時の動作を変える

工場出荷時は、アクセスキーを押し続けている時だけ送信し、放すと受信に戻る動作になっています

この動作を、両手で作業をしながら通話ができる“ワンクリックハンズフリー”にしたり、“連続送信”や“受信専用（送信禁止）”にすることができます

設定方法

1. CUE キーを押しながら電源を入れます
2. [▼] または [▲] キーを短押しして “11” を選びます
3. テレポートキーを短押しします
4. [▼] または [▲] キーを短押しして動作を選択します（下表参照）
5. テレポートキーを短押しして設定を確定します
6. アクセスキーを短押しすると設定は完了です（自動で電源がオフ → オンになります）



キーを短押しで送信を開始し、話し終えると自動で受信に戻ります
周りの騒音が激しく誤動作する時はこの設定にします



キーを短押しで送信を開始し、話し終えると自動で受信に戻ります



キーを短押しで送信を開始し、話し終えると自動で受信に戻ります
話しているのに受信状態に戻ってしまう場合はこの設定にします



キーを押し続けているときだけ送信し、放すと受信に戻ります
(工場出荷時の設定)



キーを短押しすると送信を開始し、もう一度短押しするまで送信を
続けます



キーを押しても送信しません。受信専用になります

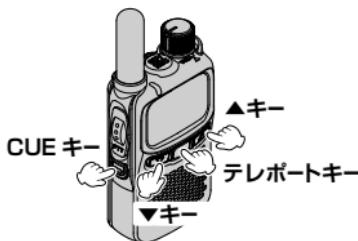


CUE 機能に関する設定

CUE 信号を受信した時に鳴るビープ音の音量と音の種類設定することができます

設定方法

1. CUE キーを押しながら電源を入れます
2. [▼] または [▲] キーを短押しして、設定する項目（下記参照）を選びます
3. テレポートキーを短押しします
4. [▼] または [▲] キーを短押しして、設定を変えます
5. テレポートキーを短押しして設定を確定します
6. アクセスキーを短押しすると設定は完了です（自動で電源がオフ → オンになります）



◎ CUE 信号を受信した時のビープ音量を調節する

→ “01” で設定します

01 SET

音量は L1 ←→ L2 ←→ L3 ←→ OFF から選べます
音量小 音量大 音量オフ

- ・工場出荷時は “L3” に設定されています
- ・“OFF” に設定すると CUE 信号の送信もできなくなります

◎ CUE 信号を受信した時のビープ音の種類を変更する

→ “02” で設定します

02 SET

アラーム音の種類は “A”（工場出荷時の設定）“B” “C” の3種類から選べます

特定のスタッフだけと通話する（ホットライン機能）

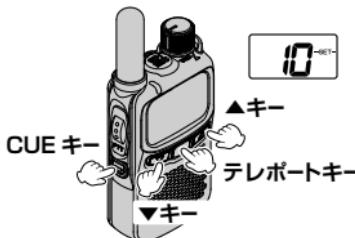
1つのグループで運用中に、グループ内の特定のスタッフだけと通話することができます（あらかじめ設定が必要です）

アクセスキーを押して話すと同じグループの全員と通話できますが、CUE キーを押して話すと特定のスタッフだけと通話ができ、他のスタッフには通話内容が聞こえません

あらかじめ下記の設定をしたスタッフだけがホットライン機能で通話できます

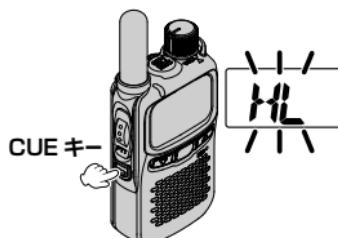
設定方法

1. CUE キーを押しながら電源を入れます
2. [▼] または [▲] キーを短押しして “10” を選びます
3. テレポートキーを短押しします
4. [▼] または [▲] キーを短押しして “ON” を選びます
5. テレポートキーを短押しして設定を確定します
6. アクセスキーを短押しすると設定は完了です（自動で電源がオフ → オンになります）



ホットライン機能で通話する

1. CUE キーを押したままにして画面に “HL” が点滅したら話します
相手の画面にも “HL” が点滅します
2. CUE キーを放すと受信に戻ります
“HL” の点滅がチャンネル番号表示に戻ります



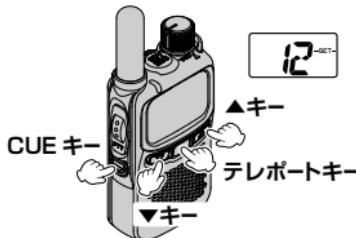
チャンネルの表示をオン / オフする

周りの人に使用しているチャンネルがわからないように、チャンネルの表示を消すことができます

運用モード	チャンネル表示あり	チャンネル表示なし
1 グループモード ノーマルモード	05	…
2 グループモード	R_05	R
3 グループモード		
4 グループモード		

設定方法

1. CUEキーを押しながら電源を入れます
2. [▼] または [▲] キーを短押しして “12” を選びます
3. テレポートキーを短押しします
4. [▼] または [▲] キーを短押しして “OFF” を選びます
5. テレポートキーを短押しして設定を確定します
6. アクセスキーを短押しすると設定は完了です（自動で電源がオフ → オンになります）



再びチャンネルを表示させるには、上記と同じ操作を行い手順4で “ON” を選びます

Bluetooth ヘッドセットでワイヤレス通信を行う (SRS30-BT、SRS30S-BT のみ)

オプションの Bluetooth ヘッドセット “SSM-BT20” を使用して、ケーブルの無いハンズフリー運用ができます



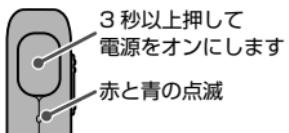
市販の Bluetooth ヘッドセットも使用できますが、すべての Bluetooth ヘッドセットの動作を保証するものではありません。当社の “SSM-BT20” のご使用をお勧めします

Bluetooth ヘッドセットを使用するには、本機への登録（ペアリング）が必要です
この操作は最初に一度だけ必要で、次回からはトランシーバーとヘッドセットの電源を入れるだけで自動で接続されます

SSM-BT20 のマルチファンクションボタンを 3 秒以上押して電源をオンにします

ペアリングモードになり LED が赤と青で点滅します

続けてトランシーバー側の設定を行います



①

CUE キーを押しながら電源を入れます



ツマミをまわして電源を入れます

②

[▼]/[▲] キーを短押しして “BTOF” を選びます



▲キー 短押し (+ 方向)
▼キー 短押し (- 方向)

③

テレポートキーを短押しします



現在の設定が点滅します

④

[▼]/[▲] キーを短押しして “ON” にします



▲キー
▼キー
短押し

⑤

テレポートキーを短押しします



短押し
テレポートキー
ヘッドセットをサーチします

⑥

テレポートキーを長押しします



接続するヘッドセットが表示されたらテレポートキーを長押しします

長押し
テレポートキー



アクセスキーを短押しします
自動で電源がオフ → オンになります
通常の運用画面になります



トランシーバーと Bluetooth ヘッドセットが接続中は “” が点灯します

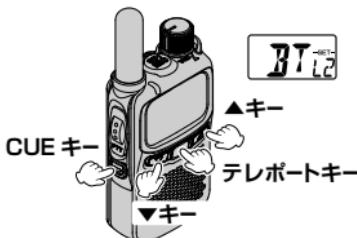


Bluetooth ヘッドセットのマイクの感度を変える

Bluetooth ヘッドセットを使用している時に相手から「声が小さい」「声が大きい」と言われた時は、Bluetooth ヘッドセットのマイク感度を変えることができます

設定方法

1. CUE キーを押しながら電源を入れます
2. [▼] または [▲] キーを短押しして “BTL2” を選びます
3. テレポートキーを短押しして、設定を変えます



マイク感度は L1 ←→ L2 ←→ L3 から選べます
感度小 感度大

工場出荷時は “L2” に設定されています

4. テレポートキーを短押しして設定を確定します
5. アクセスキーを短押しすると設定は完了です（自動で電源がオフ → オンになります）

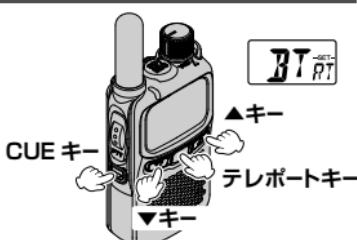
Bluetooth に関する設定だけを初期化（リセット）する

Bluetooth ヘッドセットを変えたり使わない時は、Bluetooth に関する設定だけをリセットできます

他の設定はリセットされません

初期化方法

1. CUE キーを押しながら電源を入れます
2. [▼] または [▲] キーを短押しして “BTRT” を選びます
3. テレポートキーを短押しします
4. [▼] または [▲] キーを短押しして “ON” を選びます
5. テレポートキーを短押しすると初期化を行います
6. “BTRT” の表示になったら、初期化は完了です
7. アクセスキーを短押しします（自動で電源がオフ → オンになります）



全体設定

19種類の機能設定で、本機の設定を使いやすくカスタマイズすることや、様々な機能を動作させることができます

①

CUEキーを押しながら電源を入れます

ツマミをまわして電源を入れます



②

[▼] または [▲] キーを短押しして設定する項目を選びます



③

テレポートキーを短押し



④

[▼] または [▲] キーを短押しして設定値を変えます



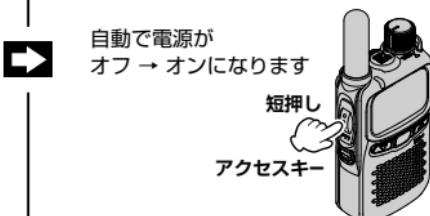
⑤

テレポートキーを短押しすると設定を確定します



⑥

アクセスキーを短押しすると設定は完了です



機能項目	出荷時の設定	機能
CUE ピーブ音量 画面表示 01 CUE 信号を受信した時に鳴るCUE ピーブ音の音量を選択することができます	L3	L1 音量小 → L2 音量大 L3 音量オフ
CUE のピーブ音を変える 画面表示 02 CUE 信号を受信した時に鳴るピーブ音を好みに合わせて選択することができます	R	R I C 好みにあわせて3パターンから選択することができます
受信ピーブ音量 画面表示 03 受信時に鳴る通話開始・終了を確認するピーブ音の音量を選択することができます。(通常はオンにしておき、相手の通話の始めと終わりをピーブ音で確認できます)	L2	L1 音量小 → L2 音量大 L3 音量オフ
送信ピーブ音量 画面表示 04 送信時に鳴る通話開始・終了を確認するピーブ音の音量を選択することができます	L2	L1 音量小 → L2 音量大 L3 音量オフ
受信ピーブモード 画面表示 05 受信時に相手の通話開始・終了を確認するピーブ音をオフにすることができます	R All	All : 受信開始と受信終了時にピーブ音が鳴ります EG : 相手の通話を受信開始した時にだけピーブ音が鳴ります EH : 相手の通話が終了した時にだけピーブ音が鳴ります OFF : ピーブ音は鳴りません
送信ピーブモード 画面表示 06 送信時に自分の通話開始・終了を確認するピーブ音を鳴らすことができます	E All	All : 送信開始と送信終了時にピーブ音が鳴ります EG : 送信を開始した時にだけピーブ音が鳴ります EH : 送信が終了した時にだけピーブ音が鳴ります OFF : ピーブ音は鳴りません

機能項目	出荷時の設定	機能
キーピーブ音量 画面表示 07 トランシーバーを操作したときに鳴るピープ音の音量を選択することができます	L2	L1 音量小 → L2 L3 音量大 OFF 音量オフ
内部マイク感度 画面表示 08 相手から「声が小さい」と言われた時に、内部マイクの感度を調節することができます	L2	L1 感度小 → L2 L3 感度大
外部マイク感度 画面表示 09 外部マイク使用時に外部マイクの感度を調節することができます	L2	L1 感度小 → L2 L3 感度大
ホットライン機能 画面表示 10 特定のスタッフとだけ通話することができます	OFF	ON : CUEキーを押しながら話すと“ON”に設定したスタッフとだけ通話ができます OFF : ホットライン機能は動作しません
アクセスキーアクション 画面表示 11 送話するときの動作を選択することができます	P11	TX-L : キーを短押しで送信を開始し、話し終えると自動で受信に戻ります。周りの音で受信に戻らない時はもう一度キーを押すと受信に戻ります。静かな場所で使う場合に適しています TX-H : キーを短押しで送信を開始し、話し終えると自動で受信に戻ります。通常はこの設定で使用します TX-LH : キーを短押しで送信を開始し、話し終えると自動で受信に戻ります。話しているのに受信状態に戻ってしまう場合はこの設定にします P11 : キーを押し続けるときだけ送信します。放すと受信に戻ります C11 : キーを短押しすると送信を開始し、もう一度短押しするまで送信を続けます OFF : キーを押しても送信しません。受信専用になります
CH番号表示 画面表示 12 チャンネル番号の表示を消すことができます	ON	ON : チャンネル番号が表示されます OFF : チャンネル番号の表示が消えます

機能項目	出荷時の設定	機能
スケルチレベル 画面表示 	L1	   設定値を大きくすると雑音は消えやすくなりますが、弱い電波が聞こえなくなることがあります
設定内容転送 画面表示 	-	1. 設定を送る側と受ける側両方のSRS30の設定項目を“14”にあわせます 2. 両方のSRS30のテレポートキーを短押しします (“RX”が点滅します) 3. 設定を送る側のSRS30のテレポートキーを短押しして “TX”が点滅したらアクセキーを短押しします 4. コピーが終了すると、自動で電源オフ → 電源オンになります
秘話 画面表示 	OFF	 : 秘話機能は動作しません（通常はこの状態で使います）    秘話モードを使用する時に、どれかを選択します 通話するグループ全員が同じタイプに合わせてください
Bluetooth の ON/OFF (SRS30-BT、SRS30S-BTのみ) 画面表示 	OFF	 : Bluetooth 機能をオンにします  : Bluetooth 機能をオフにします
Bluetooth 機能をオン / オフすることができます		
Bluetooth マイク感度 (SRS30-BT、SRS30S-BTのみ) 画面表示 	L1	   感度小 → 感度大
Bluetooth ヘッドセットのマイク感度を調節することができます		
Bluetooth 初期化 (SRS30-BT、SRS30S-BTのみ) 画面表示 	OFF	 : Bluetooth の設定を初期化します  : Bluetooth の初期化を中止します
Bluetooth に関する設定だけを初期化することができます		
出荷時リセット 画面表示  (点滅)	-	1. “RSET”にあわせます 2. テレポートキーを短押しします 3. 工場出荷時の状態に戻ります
全ての設定を工場出荷時の状態に戻すことができます		

メモ

ヤエスコネクトの機能を 使わないモード

ヤエスコネクトライトの機能を持たないトランシーバーと通話する時のモード（ノーマルモード）です

ヤエスコネクトの機能を使わないモード（ノーマルモード）

このモードで運用する場合は、始めにグループ内の全てのSRS30の運用モードを“ノーマルモード”(NOR)に変更してください

変更方法は“はじめに運用モードを変更します”を参照してください(4ページ)

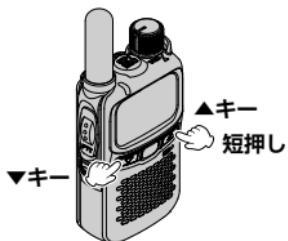
ヤエス コネクト ライトの機能は使えません

工場出荷時は画面に表示されている1つのチャンネルだけで通話を行う設定になっています

現在のチャンネルを変更する

使用するチャンネルを01～20の中から選んで変更することができます

[▼]または[▲]キーを短押ししてチャンネルを変えます
(01～20から選べます)



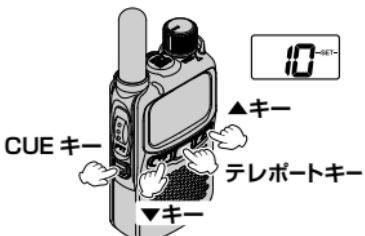
メインとセカンドの2つのチャンネルを使用する

メインチャンネル(Ach)とセカンドチャンネル(Bch)のどちらのチャンネルの信号も受信することができます

アクセスキーを押すと“メインチャンネル(Ach)”で送信、CUEキーを押すと“セカンドチャンネル(Bch)”で送信します

設定方法

1. CUEキーを押しながら電源を入れます
2. [▼]または[▲]キーを短押しして“10”を選択します
3. テレポートキーを短押しします
4. [▼]または[▲]キーを短押しして“PT”を選択します
5. テレポートキーを短押しして設定を確定します
6. アクセスキーを短押しすると設定は完了です(自動で電源がオフ→オンになります)



メインチャンネルで送信する時 → アクセスキーを押します

セカンドチャンネルで送信する時 → CUEキーを押します

信号を受信した時のビープ音でメインチャンネルの信号かセカンドチャンネルの信号かを区別できます

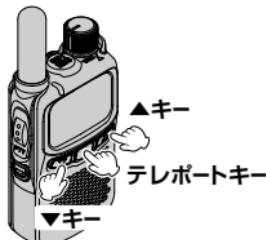
- ・メインチャンネルの信号を受信した時 → ブッ
- ・セカンドチャンネルの信号を受信した時 → ブブッ

メインとセカンドで使用するチャンネルを変更する

メインチャンネルの“Ach”とセカンドチャンネルの“Bch”には出荷時に予め任意のチャンネルが設定されていますが、それぞれのチャンネルを01～20の中から選んで変更することができます

設定方法

- 一度電源を切ります
- [▼]と[▲]キーを同時に押しながら電源を入れます
- [▼]または[▲]キーを短押しして変更したいチャンネルを選びます
- テレポートキーを短押しします
- [▼]または[▲]キーを短押ししてチャンネルを変えます
- テレポートキーを短押しします
- 下記の“エアクローン”で、他のSRS30へ変更したチャンネルをコピーします



次に他のSRS30へ変更したチャンネルをエアクローンで同期する

①

全てのSRS30でテレポートキーを押しながら電源を入れます



②

チャンネルを変えたSRS30のアクセスキーを短押しすると全てのSRS30が自動で同じチャンネルになります

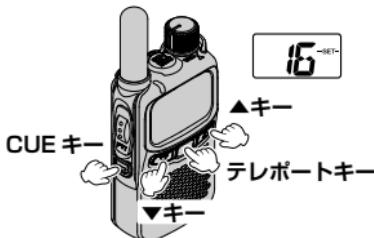


通話エリアを拡大する（中継器を使用する）

通話相手との間に障害物がある場合や、距離が離れている場合など、電波が届かずに入通話できないときは、中継器を中間点に設置することで通話エリアを広げることができます

設定方法

1. CUE キーを押しながら電源を入れます
2. [▼] または [▲] キーを短押しして “16” を選びます
3. テレポートキーを短押しします
4. [▼] または [▲] キーを短押しして “ON” を選びます
5. テレポートキーを短押しして設定を確定します
6. アクセスキーを短押しします



自動で電源がオフ → オンになります。中継用チャンネルを選べるようになります

7. [▼] または [▲] キーを短押しして、中継器で使用するチャンネルにあわせます
中継器を使用した通話の方法は、中継器の取扱説明書を参照してください

マイクの感度を変える → 19 ページ参照

相手から「声が小さい」「声が大きい」と言われた時に、内部マイクおよび外部マイク使用時は外部マイクのマイク感度を変えることができます

アクセスキーを押した時の動作を変える → 20 ページ参照

工場出荷時は、アクセスキーを押し続けている時だけ送信し、放すと受信に戻る動作になっています

この動作を、両手で作業をしながら通話ができる“ワンクリックハンズフリー”にしたり、“連続送信”や“受信専用（送信禁止）”にすることができます

CUE 機能に関する設定 → 21 ページ参照

CUE 信号を受信した時に鳴るビープ音の音量と音の種類設定することができます

チャンネルの表示をオン / オフする → 23 ページ参照

周りの人に使用しているチャンネルがわからないように、チャンネルの表示を消すことができます

Bluetooth ヘッドセットでワイヤレス通信を行う → 24 ページ参照

オプションの Bluetooth ヘッドセット “SSM-BT20” を使用して、ケーブルの無いハンズフリー運用ができます

グループ以外の通話が聞こえる時はグループコードを変える

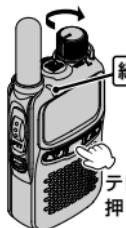
- ・グループコードは、その信号がメンバーの信号かどうかを判断する時に使いますので、メンバー全員が同じグループコード番号にする必要があります
- ・工場出荷時はグループコードを使わない設定（OFF）になっています
- ・グループコード番号が異なる他のグループの信号はミュートになり聞こえません

1台のグループコードを変更してからエアクローンで 全てのSRS30を新しいグループコードに同期する

①

テレポートキーを押し
ながら電源を入れます

ツマミをまわして
電源を入れます



RX

"RX"が表示
されます

②

[▼]/[▲]キーを短押しして
"GRCD"を選びます



GRCD

③

テレポートキーを短押し

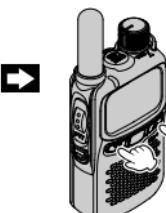
"OFF" "GPO1" ~ "GP50"
"D017" ~ "D754" の
いずれかが表示されます



グループコードが
"GPO1"の場合

④

[▼]/[▲]キーを短押し
して任意のグループ
コードにします



"GPO1" ~ "GP50" または
"D017" ~ "D754" のから
選べます

⑤

テレポートキーを短押し
するとグループコードが
確定します



テレポートキー
短押し

⑤

エアクローンで全ての
SRS30とグループ
コードを同期させます

操作方法は「もし通話が
できなくなったときは
エアクローンで同期を
し直す」(12ページ)を
参照してください

ノーマルモード

テレポート機能を変更する（通常は変更する必要はありません）

①

テレポートキーを押し
ながら電源を入れます

ツマミをまわして
電源を入れます



②

[▼] または [▲] キーを短押し
して設定する項目を選びます



GR グループコードを
選んだ場合の表示例

③

テレポートキーを短押し



テレポートキー
短押し

④

[▼] または [▲] キーを短押しして
設定を変えます



J754

⑤

テレポートキーを短押し
すると設定を確定します



テレポートキー
短押し

⑥

他の SRS30 の
テレポートキーを押し
ながら電源を入れます

ツマミをまわして
電源を入れます



⑦

設定を変えた SRS30 のアクセス
キーを短押ししてエアクローンで
他の SRS30 を同期させます

設定した情報が
送信されます



TX "TX" が点滅します

そのままご使用に
なれます

ノーマルモード時のテレポート機能の項目リスト

グループ内の全てのSRS30の設定内容を同期したり、同じグループであることを識別するグループコード番号を設定します

テレポートキーを押しながら電源を入れると、設定モードになります

項目	出荷時の設定	機能
エアクローン 1台のSRS30で設定した内容を他のSRS30にコピーすることができます	—	 エアクローン受信待機  エアクローン送信 操作方法は“もし通話ができなくなったときはエアクローンで同期をし直す”(12ページ)を参照してください
グループコード 同じグループであることを識別するコード番号です。グループコードが違うと通話ができません。他のグループが同じグループコードを使っていて混信が起こる場合は、グループコードを変えます		 ~   ~  “GP01”～“GP50”または“D017”～“D754”の中から選びます 操作方法は“グループ以外の通話が聞こえる時はグループコードを変える”(35ページ)を参照してください

全体設定

23種類の機能設定で、本機の設定を使いやすくカスタマイズすることや、様々な機能を動作させることができます

①

CUEキーを押しながら電源を入れます

ツマミをまわして電源を入れます



②

[▼] または [▲] キーを短押しして設定する項目を選びます



③

テレポートキーを短押し



④

[▼] または [▲] キーを短押しして設定値を変えます



⑤

テレポートキーを短押しすると設定を確定します



⑥

アクセスキーを短押しすると設定は完了です



機能項目	出荷時の設定	機能
CUE ピーブ音量 画面表示 01 CUE 信号を受信した時に鳴るCUE ピーブ音の音量を選択することができます	L3	L1 音量小 → L2 音量大 L3 音量オフ
CUE のピーブ音を変える 画面表示 02 CUE 信号を受信した時に鳴るピーブ音を好みに合わせて選択することができます	R	R I C 好みにあわせて3パターンから選択することができます
受信ピーブ音量 画面表示 03 受信時に鳴る通話開始・終了を確認するピーブ音の音量を選択することができます。(通常はオンにしておき、相手の通話の始めと終わりをピーブ音で確認できます)	L2	L1 音量小 → L2 音量大 L3 音量オフ
送信ピーブ音量 画面表示 04 送信時に鳴る通話開始・終了を確認するピーブ音の音量を選択することができます	L2	L1 音量小 → L2 音量大 L3 音量オフ
受信ピーブモード 画面表示 05 受信時に相手の通話開始・終了を確認するピーブ音をオフにすることができます	R All	All : 受信開始と受信終了時にピーブ音が鳴ります EG : 相手の通話を受信開始した時にだけピーブ音が鳴ります EH : 相手の通話が終了した時にだけピーブ音が鳴ります OFF : ピーブ音は鳴りません
送信ピーブモード 画面表示 06 送信時に自分の通話開始・終了を確認するピーブ音を鳴らすことができます	E All	All : 送信開始と送信終了時にピーブ音が鳴ります EG : 送信を開始した時にだけピーブ音が鳴ります EH : 送信が終了した時にだけピーブ音が鳴ります OFF : ピーブ音は鳴りません

機能項目	出荷時の設定	機能
キーピーブ音量 画面表示 07 トランシーバーを操作したときに鳴るピープ音の音量を選択することができます	L2	L1 音量小 → L2 音量大 → L3 音量オフ
内部マイク感度 画面表示 08 相手から「声が小さい」と言われた時に、内部マイクの感度を調節することができます	L2	L1 感度小 → L2 感度大 → L3
外部マイク感度 画面表示 09 外部マイク使用時に外部マイクの感度を調節することができます	L2	L1 感度小 → L2 感度大 → L3
CUEキー長押し機能 画面表示 10 CUEキーを長押しした時の動作を設定します	OFF	<p>OFF: 長押しと同様に、CUE（キュ）機能でスタッフに合図を送ります</p> <p>PT: アクセスキーを押すと“メインチャンネル”で送信、CUEキーを押すと“セカンドチャンネル”で送信します</p> <p>PR: 当社のEXR100AやPSU10のPA機能搭載機へ送信して、構内アナウンスをおこなうことができます。送信はメインチャンネル（Ach）で行います</p> <p>PB: 構内アナウンスをおこなうときに、他のトランシーバーからは音は出さないでEXR100AやPSU10のスピーカーからだけ音を出します。送信はサブチャンネル（Bch）で行います</p>
アクセスキー動作 画面表示 11 送話するときの動作を選択することができます	TX-L	<p>TX-L: キーを短押しで送信を開始し、話し終えると自動で受信に戻ります。周りの音で受信に戻らない時はもう一度キーを押すと受信に戻ります。静かな場所で使う場合に適しています</p> <p>TX-M: キーを短押しで送信を開始し、話し終えると自動で受信に戻ります。通常はこの設定で使用します</p> <p>TX-H: キーを短押しで送信を開始し、話し終えると自動で受信に戻ります。話しているのに受信状態に戻ってしまう場合はこの設定にします</p> <p>P: キーを押し続けているときだけ送信します。放すと受信に戻ります</p> <p>C: キーを短押しすると送信を開始し、もう一度短押しするまで送信を続けます</p> <p>OFF: キーを押しても送信しません。受信専用になります</p>

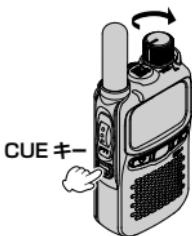
機能項目	出荷時の設定	機能
CH番号表示 画面表示 		 : チャンネル番号が表示されます  : チャンネル番号の表示が消えます
チャンネル番号の表示を消すことができます		
スケルチレベル 画面表示 		   : 設定値を大きくすると雑音は消えやすくなりますが、弱い電波が聞こえなくなることがあります
雑音をカットする機能で、信号が無い時に頻繁に「ザ、ザ」という雑音が耳障りなときは数字を大きくします		
設定内容転送 画面表示 	-	1. 設定を送る側と受ける側両方のSRS30の設定項目を“14”にあわせます 2. 両方のSRS30のテレポートキーを短押しします（“RX”が点滅します） 3. 設定を送る側のSRS30のテレポートキーを短押しして“TX”が点滅したらアクセスキーやを短押しします 4. コピーが終了すると、自動で電源オフ → 電源オンになります
セットモードで設定した内容をグループ内の他のSRS30にコピーすることができます		
秘話 画面表示 		 : 秘話機能は動作しません（通常はこの状態で使います）    : 秘話モードを使用する時に、どれかを選択します 通話するグループ全員が同じタイプに合わせてください
他のグループに自分のグループの通話内容を聞き取りにくくすることができます		
レピータ（中継器）設定 画面表示 		 : 通常の通話（交互通話）をする時に選びます  : 中継器を使用して中継通話を行う時に選びます
中継器を使用して通話エリアを拡げたり、電波の弱いエリアの通話を改善することができます。 中継器の使用方法は、中継器の取扱説明書を参照してください		
ファスト接続機能設定 画面表示 		 : ファスト機能を使用しないで中継通話を行います  : ファスト機能が動作して、中継器との接続時間を短縮できます
当社のファスト機能対応中継器を使用して中継通話を行う時、中継器との接続時間を短縮できます。中継器側のファスト機能も“ON”にする必要があります		

機能項目	出荷時の設定	機能
送信出力 画面表示 	H _I	連続して 3 分間送信すると一度 2 秒間受信状態になります。その後再び 3 分間連続送信できます (10mW 送信) L _O : 時間の制限が無く連続送信できます (1mW 送信)
コンパンダ 画面表示 	OFF	Q _H : コンパンダ機能がオンになります Q _{FF} : コンパンダ機能がオフになります
Bluetooth の ON/OFF (SRS30-BT、SRS30S-BT のみ) 画面表示 	OFF	Q _H : Bluetooth 機能をオンにします Q _{FF} : Bluetooth 機能をオフにします
Bluetooth マイク感度 (SRS30-BT、SRS30S-BT のみ) 画面表示 	L ₂	L ₁ L ₂ L ₃ 感度小 → 感度大
Bluetooth 初期化 (SRS30-BT、SRS30S-BT のみ) 画面表示 	OFF	Q _H : Bluetooth の設定を初期化します Q _{FF} : Bluetooth の初期化を中止します
出荷時リセット 画面表示 	—	1. "RSET" にあわせます 2. テレポートキーを短押しします 3. 工場出荷時の状態に戻ります

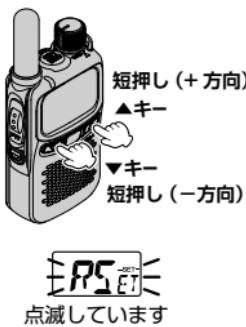
正常に動かない時は、工場出荷時の状態に戻す（リセット）

CUE キーを押しながら電源を入れます

ツマミをまわして電源を入れます



[▼] または [▲] キーを短押しして RSET を選びます



テレポートキーを短押しします



工場出荷時の状態に戻ります

故障かな？と思う前に

間違った操作をしていませんか？修理を依頼される前にお確かめください

○ 電源が入らない！

- ・アルカリ乾電池またはニッケル水素電池が消耗していませんか？
→ アルカリ乾電池を交換または、ニッケル水素電池を充電してください
- ・アルカリ乾電池またはニッケル水素電池の端子が接触不良になっていませんか？
→ 端子を乾いた布で拭いてください
- ・ニッケル水素電池が古くなっていますか？
→ 新しいニッケル水素電池とお取り替えください

○ 送信できない！

- ・アクセキーを正しく押していますか？
- ・アクセキー動作が“受信専用”になっていませんか？

○ 音がでない！

- ・相手局と同じグループ ID (またはグループコード) に設定していますか？
- ・通話できない！
 - ・相手局と同じチャンネルに設定していますか？
 - ・相手局との距離が離れすぎていませんか？
 - ・相手局と同じグループ ID (またはグループコード) に設定していますか？
 - ・秘話通信機能が動作していませんか？
→ お互いに秘話通信機能を動作させて、秘話のタイプを一致させないと通話できません

○ 定期的に「ビビビビビッ」と音が鳴る！

- ・アルカリ乾電池またはニッケル水素電池が消耗していませんか？
→ 電池が少なくなると画面の表示とアラーム音で知らせます

アフターサービス

正常なご使用状態で万一故障した場合は、お手数ですがお買い上げいただきました販売店にご相談ください製品に関するお問い合わせは、お買い上げいただきました販売店または、当社国内営業部までお願いします

八重洲無線株式会社

〒 140-0013

東京都品川区南大井 6-26-3 大森ベルポート D-3F

TEL : 03-6404-6525

◎ 保証期間はお買い上げの日より 3 年間です

本製品には保証書が添付されています

お買い上げいただいた日から 3 年以内に、取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合には、無料で修理をお引き受けします

誤った使い方や過失などによる故障や破損は、保証期間中であっても有償修理の対象となる場合があります

◎ 保証書は大切に保管してください

保証書を紛失しますと、保証期間中に発生した故障でも保証期間が経過したものとして有償扱いにさせていただきますのでご了承ください

また、お買い上げ日・販売店名等の必要事項が記入していない保証書も無効扱いにさせていただきますので、お買い上げいただきました販売店名・お買い上げ年月日等が正しく記入されていることをご確認のうえ、大切に保管してください

◎ ニッケル水素電池 “SBR-17MH” は消耗品のため保証対象外です

化学的経年劣化なども保証対象外になります

◎ ニッケル水素電池 “SBR-17MH” は消耗品です

充放電を繰り返すと使用できる時間が徐々に短くなります。充電しても使用時間が極端に短くなった場合は SBR-17MH の寿命です

防水性能について

本機は、IEC 国際規格 IP68 相当（防塵等級6^{*1}、防水等級8^{*2}）の防塵、防水性能を有しています。この性能を永く確保していただくために、必ずご使用になる前に下記の項目をご確認ください

- ◎ キーヤボタンのラバー、SP/MIC 端子の保護カバー、電池フタのパッキンなどにキズ、劣化、汚れがないか確認してください
- ◎ 海水砂泥などが付いたときは、ケースが損傷していないことを確認した上で、真水の溜め水で濯ぎ、すぐに乾いた布で拭き取ってください
- ◎ 本機の汚れを落とす際に、蛇口からの水を直接当てたり、高圧の洗浄機やエアダスターを使用したり、スチーム洗浄をおこなったりしないでください
- ◎ 本機は、水中での使用はできません

* 1 : 粉塵が内部に侵入しない

* 2 : 水深 1.5m に 30 分間没しても有害な影響を受けないこと

定格

送受信周波数	(12.5kHz ステップ)
	互通話 (単信) 422MHz 帯 (20ch)
	中継通話 (半複信) 421MHz 帯 / 440MHz 帯 (27ch)
電波型式	: F3E, F2D
通信方式	: 単信方式および半複信方式
送信出力	: 10mW 以下 / 1mW 以下
受信感度	: -15dB μV 以下 (@ 12dB SINAD)
低周波出力	: 内蔵スピーカー 85mW 以上 (@4 Ω、10% 歪時)
動作温度範囲	: -10°C ~ +50°C
定格電圧	: DC 1.2V ~ 1.5V (動作範囲 1.0V ~ 1.7V)
寸法	: 約 47 (幅) × 80 (高さ) × 22 (厚み) mm (アンテナおよび突起部を含まず)
重量	: 約 93g (電池、ベルトクリップを除く)
防塵・防水	: IP68*

RoHS 指令準拠

この定格は性能向上のため予告なく変更することがあります

* IEC (国際電気標準会議)に基づく粉塵や浸水に関する保護等級

防塵性 : IP6X (耐塵形) 粉塵の侵入から完全に保護されていること

防水性 : IPX8 (水中形) 真水 / 静水に水深 1.5m の位置で 30 分間没しても機器の動作に影響をおよぼさないこと

2.4GHz 帯の電波干渉についてのご注意

本製品の Bluetooth を使用して通信をするときは、以下のことに注意してください

この通信の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています

- (1) この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい
- (2) 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、使用場所を変更するか Bluetooth のご使用をお控えください
- (3) その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社国内営業部（電話 03-6404-6525）にお問い合わせください

2.4FH1

- 「2.4」 : 2.4GHz 帯を使用する無線設備
- 「FH」 : FH-SS 方式
- 「1」 : 想定干渉距離 10m 以下
- 「■ ■ ■」 : 全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局の帯域を回避可

Bluetooth のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり
八重洲無線株式会社はライセンスに基づいて使用しています

安全上のご注意 ~必ずお読みください~

本機を安全に正しくお使いいただくために、次のことに十分ご注意ください

危険 誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています

警告 誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています

注意 誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています

 行ってはならない禁止事項です（例  分解禁止）

 必ず守っていただきたい注意事項です

危険

 自動車を運転しながら交信や操作をしない
事故の原因になるだけでなく、道路交通法
違反になります
運転者が使用するときには、車を安全な場
所に止めてからご使用ください

 航空機内や病院内などの“使用を禁止され
た区域”では電源を切る
電子機器や医療機器に影響を及ぼす場合が
あります

 引火性ガスの発生する場所や高所などの危
険な場所で使用しない
発火事故や落下事故などの原因になります

 充電端子やニッケル水素電池の端子にはん
だ付けやショートをしない
火災・漏液・発熱・破裂・発火などの原因
になりますネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運ばないでください

警告

 分解や改造をしない
本機は電波法に基づく無線局で使用する通
信機器です

分解や改造は違法ですのでおやめください。
また、ケガ等の事故や故障の原因になります

 自動ドア、火災報知器などの自動制御機器
の近くで使用しない

本機からの電波が自動制御機器に影響を及
ぼすことがあります、誤動作による事故の原因
になります

 当社指定以外の充電器を使用しない
火災や故障の原因になります

注意

 当社指定以外のオプションを使用しない
ケガの原因になります
また、本体の故障や破損の原因にもなります

 強い衝撃を加えたり、投げつけたりしない
故障の原因になります

 ニッケル水素電池を指定の充電器で充電する
ときの温度範囲は5°C～35°Cです
これ以外の温度での充電は、故障の原因に
なります

 磁気カードなどをトランシーバーに近づけ
ない
キャッシングカードなどの内容が消去され
ることがあります

 トランシーバーを直射日光の当たる場所や
熱器具の近くに放置しない

変形や変色等の原因になります

 シンナーやベンジンなどでケースを拭かな
い
変形や変色等の原因になります
ケースが汚れた場合には、乾いた柔らかい
布で拭き取ってください

索引

記号	
▲キーの操作	11
▼キーの操作	11
数字	
1つのグループで使う	3
2.4GHz 帯の電波干渉についてのご注意	45
2~4グループで使う	4
2つのチャンネルを使用する	32
B	
Bluetooth	24
Bluetooth に関する設定だけを 初期化（リセット）する	25
Bluetooth ヘッドセットの マイクの感度を変える	25
C	
CUE キー長押し機能	40
CUE キーの操作	10
CUE 機能に関する設定	21
CUE（キュー）機能	7
CUE 信号を受信した時の ビープ音の種類を変更する	21
CUE 信号を受信した時の ビープ音量を調節する	21
CUE のビープ音を変える	27、39
CUE ビープ音量	27、39
I	
IP68	44
L	
LED インジケータ	11
M	
MERGE 機能	5
S	
SBR-17MH を充電する	8
SHB-22（オプション）の使いかた	9
あ	
アクセスキーの操作	10
アクセスキーを押した時の動作を変える	20
アフターサービス	44
安全上のご注意	46
い	
イヤホンの接続 / 取り外し	9
インジケータ	11
う	
運用モードを変更する	4
え	
エアクローン	12
エリアリサーチ機能	6
お	
応用編	15
か	
外部マイクの感度を設定する	19
各部の名前と機能	10
き	
キーピーブ音量	28、40
CUE キーの操作	10
キュー機能	7
キュー機能に関する設定	21
キュー信号を受信した時の ビープ音の種類を変更する	21
キュー信号を受信した時の ビープ音量を調節する	21
キューのビープ音を変える	27、39
キューピーブ音量	27、39
く	
グループ ID を変える	13
グループコードを変える	35
グループ全員と連絡を取り合う	5
こ	
工場出荷時の状態に戻す（リセット）	43
故障かな？と思う前に	43
ご使用になる前の準備	8
困ったときに	12
混信の少ないチャンネルを自動で探す	6
コンパンダ	42

し	は
充電 8	バッテリーアラート 9
受信ビープ音量 27, 39	
受信ビープモード 27, 39	
使用可能時間 8	
す	ひ
スケルチレベル 29, 41	秘話 29, 41
スピーカーマイクの接続 / 取り外し 9	
せ	ふ
正常に動かない時（リセット） 43	ファスト接続機能設定 41
設定内容転送 29, 41	2つのチャンネルを使用する 32
全体設定 26, 38	ブルートゥース 24
そ	ブルートゥースに関する設定だけを初期化（リセットする） 25
送信出力 42	ブルートゥースヘッドセットのマイクの感度を変える 25
送信ビープ音量 27, 39	
送信ビープモード 27, 39	
た	へ
タイピンマイクの接続 / 取り外し 9	ベルトクリップの取り付けかた 9
正しくご使用いただくために 1	便利な機能 6
ち	ほ
チャンネルの表示をオン / オフする 23	防水性能について 44
中継器を使用する 34	ホットライン機能 22
つ	ま
通話エリアを拡大する 34	マージ機能 5
て	マイクの感度を変える 19
定格 45	マニュアルでチャンネルを変える 18
テレポートキーの操作 11	
テレポート機能の項目リスト 17	め
テレポート機能の項目リスト (ノーマルモード) 37	メインとセカンドで使用するチャンネルを変更する 33
テレポート機能を変更する 16, 36	メンバーに合図を送る（キュー機能） 7
電池残量表示 9	
電池の入れかた 8	や
と	ヤエスコネクトの機能を使わないモード 32
特定のスタッフだけと通話する 22	ヤエスコネクトライトについて 1
に	り
ニッケル水素電池を充電する 8	リセット 43
の	ろ
ノーマルモード 32	ローバッテリーアラート機能 9
	ロック機能 7
	わ
	ワンタッチリリースホルスター “SHB-22”（オプション）の使いかた 9

YAESU

Radio for Professionals

正常なご使用状態で万一故障した場合は、お手数ですがご購入いただいた販売店
または、下記までご相談ください

八重洲無線株式会社

〒140-0013 東京都品川区南大井 6-26-3 大森ベルポート D-3F

電話：03-6404-6525

URL : <https://connect.yaesu.com>

2601F-BS

Printed in Japan

